



マテリアリティ 2

産業の技術革新及び再編成

イノベーション推進を通じた日本の産業競争力強化

サプライチェーンの再編成

新事業・事業再編・DXに向けた後押し、グローバル市場への水先案内

産業分野

様々な産業セクター、個々のお客様に対する深い専門知識を背景に、各種ファイナンス機能やナレッジ、公益性・中立性に根ざした独自のネットワークを総動員し、お客様の成長のサポートや競争力強化、事業ポートフォリオ再構築、スタートアップを含む新規事業開発、海外展開、他社や他業種との協業、資本政策の最適化、政府の産業政策との連携等、多様な領域でお客様の課題解決を実現しインキュベーターとなることで、日本の産業競争力強化に貢献します。

▶ 日本食産業の海外展開をサポート

投資

ゼンショーホールディングスは、「世界中の人々に安全でおいしい食を手軽な価格で提供する」ことを使命に、食材の調達から製造・加工、物流を行い、「すき家」や「はま寿司」などの店舗での販売までを一貫して企画・設計、運営する外食企業です。

政府としても「日本食・食文化の海外普及戦略」を掲げ、世界的な日本食の更なる普及を目指しているなか、日本食の海外輸出が増加するとともに、海外における日本食レストランの数は近年増加しています。このようななか、日本の外食産業はコロナ禍において客数の減少により大きな影響を受けたものの、行動制限の緩和から解除へと進み人流が戻ったことを受け、需要は回復し、再び海外戦略の加速が図られています。

同社は、欧米を主な拠点とする寿司テイクアウト事業者等の買収を通じて、約4,000店舗のネットワークをグループ内に取り込むとともに、メニュー開発、食材調達、店舗運営等の各分野において同社グループとのシナジー効果を発揮することで業容の更なる拡大を企図しています。DBJは、買収に際しての同社への出資を通じ、日本企業の海外事業の拡大を後押しし、産業の競争力強化に貢献しています。

▶ 重症疾患の革新的治療につながる

医療機器開発をサポート

投資

急性呼吸窮迫症候群(ARDS)は、肺炎や敗血症などがきっかけとなり重症の呼吸不全をきたす疾患です。現時点では直接の治療薬がなく、ARDSによる死亡率は高い水準にあり、有効な新規治療法の開発が望まれています。

ARDSの治療では、重篤な炎症反応等を引き起こす原因物質であるサイトカイン(タンパク質)と活性化白血球(炎症に関与する細胞)を同時に除去することが有用であると推定されます。東レは、独自の革新的な紡糸技術を用いた繊維に、厳しい条件下での化学反応により機能を付加した吸着体の製造に成功し、サイトカインと活性化白血球の選択的な除去を非臨床試験で確認しました。現在、この吸着体をカラムに充填して血液循環させることでARDSを治療する医療機器の開発を進めています。



DBJは、東レによるかかる取組が、世界的にも治療法のない疾患に対する有効で革新的な治療法の実現を通じ、東レの競争力強化に加え、我が国のライフサイエンス事業の産業競争力強化に資するものとして、「DBJスタートアップ・イノベーションファンド」を活用し、サポートを行いました。

クライメート・ディープテック分野、グロースステージ等 **スタートアップ** 向け投資



DBJキャピタル株式会社

DBJが100%出資するベンチャーキャピタルです。「革新的な技術と事業を探索し、世界に大きなインパクトを与えるため、長期的な支援と信用力の提供を通じて、起業家と誠実に向き合い共に挑戦を続けます」をミッションステートメントに掲げ、主にシード・アーリーステージのスタートアップ企業に対するエクイティ投資と成長支援を行っています。



Webサイト <https://www.dbj-cap.jp/>

DBJキャピタルでは、以下のようなDBJグループ独自の強みを活かして、スタートアップ企業のサポートを行っています。

特色と取組方針

成長ステージを問わない 一気通貫の長期投資

シード／アーリーステージにおける新規投資を基本としつつ、ミドル／レイター段階における追加投資にも積極的に取り組み、スタートアップ企業の事業成長を長期的に支援します。

多様なネットワークの 提供による事業支援

DBJグループが有する各産業セクターの深い知見と業界ネットワーク、及び、日本の各地域からグローバルにまで展開する広範なパートナー関係を活用して、スタートアップ企業の事業成長を加速します。

DBJグループとしての 高い信用力

収益性と公益性の両立を重視するDBJグループのベンチャーキャピタルとして、顧客やステークホルダーとの関係性において、スタートアップ企業の信用力を補完します。

ポートフォリオの一例



フュージョン(核融合)エネルギー分野で主要機器の開発及びプラントエンジニアリングを手掛ける京都大学発のスタートアップです。フュージョン産業を確立し、永続的にエネルギーが循環する社会の実現を目指しています。



法人確認プロセスを自動化する「SimpleCheck」、リスク情報の重要変化を監視する「SimpleMonitor」を開発・提供しています。審査領域の変革を通じ「全ての法人がフェアに繋がる世界」を目指しています。



独自の低分子によるペプチド模倣技術である「PepMetrics®技術」を用いて、これまで創薬困難とされてきた標的に対して新しい創薬分野を創造するバイオテック企業です。2024年7月に東証グロース市場に上場しました。



ポートフォリオ一覧 <https://www.dbj-cap.jp/portfolio/>

DBJグループ一体となり、 スタートアップ企業の長期成長を多面的にサポート

投資

第9回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション「DBJ女性起業優秀賞」受賞者であるリンクメッドに対し、DBJの取引先であるペプチドリームとDBJキャピタルで共同投資を実行し、両社の成長をオールDBJで多面的にサポートしました。

リンクメッドは、⁶⁴Cuを用いた放射性医薬品による次世代型のがん治療薬を開発するバイオベンチャーです。DBJは、2022年12月にリンクメッドに対し、「DBJ女性起業優秀賞」を授与しています。

一方、ペプチドリームは、独自の環状ペプチド創出技術をもとに医薬品の開発を行う上場バイオベンチャーであり、PDRファーマを買収することで、放射性医薬品事業に参入しています。DBJは、2022年3月にペプチドリームに対し、当該買収資金を提供しています。

こうした関係があるなか、DBJキャピタルは、リンクメッドのシリーズAにおいてリード投資家を務め、ペプチドリームらと協働し、リンクメッドへの投資を行いました。本件は、DBJ女性新ビジネスプランコンペティション受賞者・ファイナリストへのDBJグループによる初のファイナンス事例となります。また、投資と並行し、パートナーVCとして、リンクメッドのNEDO助成金獲得にも貢献しました。投資後は、リンクメッドに社外取締役を派遣し、投資家や主幹事証券会社の紹介等を行うほか、リンクメッドとPDRファーマとの戦略的パートナーシップに関する契約締結等、重要な経営課題に関し中立的な立場から助言を行っています。



リンクメッド株式会社 <https://linqmed.co.jp/>

ペプチドリーム株式会社 <https://www.peptidream.com/>



DBJ女性起業優秀賞

Link for Life



リンクメッド(株)



放射性医薬品開発にかかる
戦略的資本提携

共同投資



↑ PDRファーマ買収資金



Society5.0投資等による経営サポート

DBJは、我が国の社会課題の解決に向けて、新たな価値観で新産業を創造することを目指し、持続可能でより良い社会づくりに貢献する活動に対して投資する新たな枠組みとして、「Society5.0挑戦投資制度」を創設し、投資を実行しています。

* Society5.0とは、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会

▶ 次世代電池の大型開発拠点における 量産実証をサポート

投資

TeraWatt Technologyは、高エネルギー・高出力密度・高安全性の次世代リチウムイオン電池の開発と大規模製造技術を構築するスタートアップです。同社の次世代リチウムイオン電池による、高い安全性が担保された電気自動車の走行距離の延伸、ドローン配送における積載量増加・飛行時間の延伸、さらにeVTOL等の新たな用途への適用を目指しています。

蓄電池は、世界的なカーボンニュートラルのトレンドを背景に、需要が増大するなか、近年は日本企業のシェアが低下しており、経済安全保障の文脈でも重要な物資です。かかる状況下、同社は、1990年代からリチウムイオン電池の商用化・量産の立ち上げに携わったベテランエンジニアや新進気鋭の若手エンジニア・研究者を集結させ、次世代電池の量産技術を軸に置いた開発に取り組んできました。今次、基礎開発に一定の目途がついたことから量産実証のための大型開発拠点を立ち上げ、早期事業化を目指しています。日本の蓄電池産業の競争力強化に寄与することから、出資しました。



▶ アバターロボットを通じて、 だれもが、いつでも、どこでも助け合える世界を目指して

投資

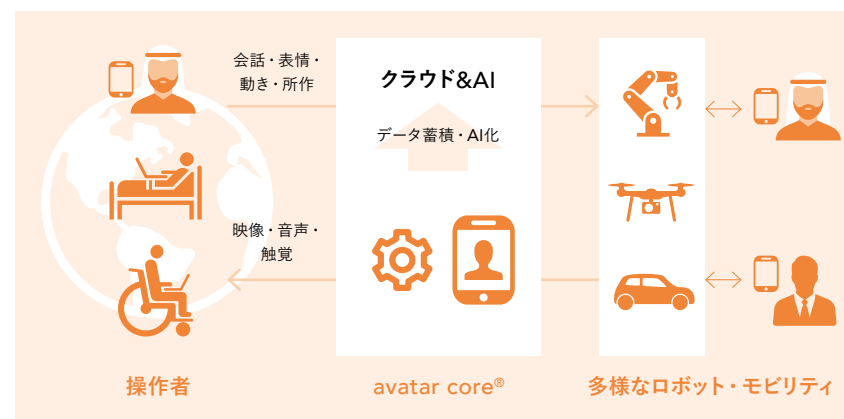
DBJは、ANAホールディングス発のスタートアップであり、アバターロボット及びアバターサービスプラットフォームの開発を行うavatarinに対し、Society5.0挑戦投資として出資を行い、日本初のアバターロボットプラットフォームの開発・普及を後押ししています。

案件事例

出資先	事業概要
アストロスケール ホールディングス	スペースデブリ除去
アルバトロス・ テクノロジー	新型洋上風車
SynecO P29	拡張生態系

avatarinは、「距離や、身体的な制限をこえて、『人と人』『人と人類の素晴らしい能力の数々』をつなぐことで、だれもが、いつでも、どこでも助け合える世界を創る」をビジョンに掲げ、独自の基盤/OS、クラウド通信プロトコル及びAIで構成されるavatar core®と、ロボティクス技術を掛け合わせた遠隔AI顧客支援ロボットを開発しています。将来的には、avatar core®を搭載する多様なロボット・モビリティを通じて得られる現場データの収集・AI学習を行い、様々なプロフェッショナルのスキルのライブラリ化・プラットフォーム化を実現することにより、あらゆる人が自分の能力を拡張できる世界を目指しています。

DBJは、ロボティクス、通信、AIの総合技術であるavatarinのアバターは、リアルとバーチャルが高度に融合するSociety5.0社会に挑戦する技術であるとともに、遠隔・非接触のサービス提供などレジリエンスな社会実現につながる日本発のプラットフォームとして、国内の産業活性化への貢献も含めて期待を寄せています。



ポストコロナ・脱炭素・循環経済等を踏まえたサプライチェーン再構築

▶ 業種横断的なGX関連の知見について

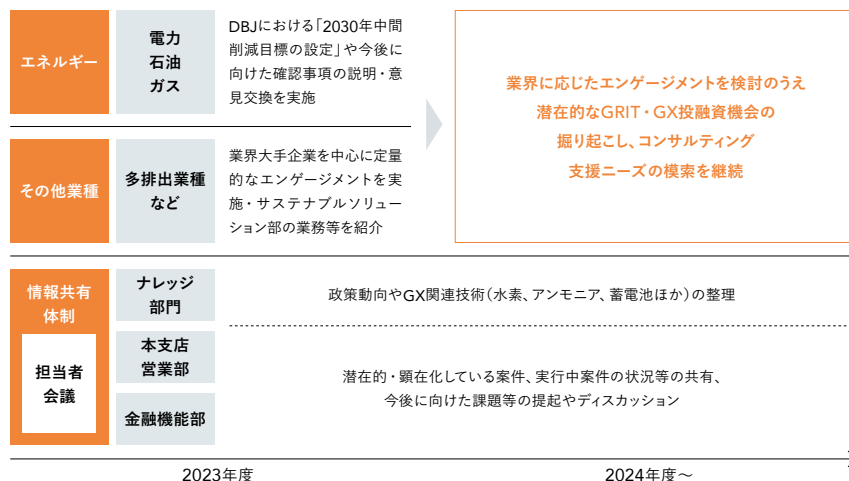
ナレッジ

蓄積・共有する仕組みを構築

DBJは、お客様との建設的な対話を前提に、エネルギー（電力・石油・ガス）への取組を先行させつつ、他業種との対話も順調に具体化しています。引き続き、以下を意識しながらお客様の脱炭素化に向けた取組にかかるエンゲージメントを継続する方針です。

- 業界及びお客様の問題意識について理解を深めるとともに、DBJからもお客様に対して問題提起や仮説提示を行い、双方向の対話を進めることで、課題解決に向けたサポートのあり方を追求する
- お客様のトランジション、ひいては事業変革（プロジェクト）のサポートを最終的に目指していく過程で、お客様の資金ニーズへの対応（＝案件創出）にも精力的に取り組んでいく

脱炭素化の取組は、業種横断的、地域横断的に推進されている潮流を踏まえて、お客様をサポートするDBJにおいても、部店の垣根を越えた円滑な情報共有と、それに基づく各部店の連携が不可欠な状況にあると認識しており、定期的な担当者会議を実施のうえ、業種横断的なGX関連の知見について蓄積・共有する仕組みを構築しています（トランジション業務推進室  P9）



▶ 車載用リチウムイオン電池材料の

投資

生産能力増強に向けた設備投資をサポート

artienceが製造する車載用リチウムイオン電池正極材用の導電カーボンナノチューブ（CNT）分散体は、車載用リチウムイオン電池の高容量化、急速充電性能の向上、航続距離伸長などを実現するキーマテリアルです。

リチウムイオン電池の正極材は、主に活物質とバインダー、導電材から構成されています。artienceは、長年のインキ製造によって培った分散技術に強みを持ち、2015年より、リチウムイオン電池の正極材用の導電材としてカーボンブラック（CB）分散体を販売してきました。その後、artienceは独自の添加剤と分散体製法を用いてCNTの分散性と導電性を飛躍的に高めることで、より少ない使用量でリチウムイオン電池の正極における抵抗値を大幅に下げることになりました。CNT分散体は、従来のCB分散体と比べて、リチウムイオン電池の高容量化を実現するだけでなく、電気自動車の航続距離伸長や急速充電性能向上への貢献が期待されています。この高い技術力と、自動車の四大市場である、北米、欧州、中国、日本に安定供給可能な5つの生産拠点を持つ唯一のCNT分散体メーカーであることが評価され、artienceのCNT分散体は大手電池メーカーで相次いで採用されています。

車載用リチウムイオン電池は、世界的なカーボンニュートラルのトレンドを背景に需要が増大しており、その部素材を含めて経済安全保障の観点でも重要な物資となっています。かかるなか、artienceは、CNT分散体の大幅な需要増加が見込まれていることから、世界5拠点において生産能力増強に向けた設備投資を実施することを決定しました。

DBJは、artienceによるかかる取組が、同社の競争力強化に加え、我が国の重要物資等の供給力強化に資するものと評価し、特定投資業務の新たな重点投資分野として設置した「サプライチェーン強靱化・インフラ高度化ファンド」を活用し、支援を行いました。



リチウムイオン電池正極材用
CNT分散体 LIOACCUM®